



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2018年11月30日



装いも新たに生まれ変わった問屋町交流ストア



手作りのパン・おやきを販売



新設されたクラフトコーナー

次世代型ワーク・ライフ・ス  
0年先を見据えた職住共存の  
県の淡路島に全面移転。30  
置いたが、4年前に兵庫  
阪市に本社および主幹工場を  
内トップシェアメーカー。大  
機（かくはんき）の分野で国  
機（かくはんき）の分野で国  
に寄与している。

トップレベルの演奏に触れる  
機会を設け、徳島の文化発展  
に寄与している。

音楽コンクール入賞者を招き、  
祭」を30年近く主催。日本音  
楽界最高の登竜門である日本  
音楽コンクール入賞者を招き、  
トップレベルの演奏に触れる  
機会を設け、徳島の文化発展  
に寄与している。

た。  
（協徳島総合流通センターは  
昭和51年に設立され、42社の  
組合員で組織される。同卸団  
地では、地域社会への貢献の  
一環として「リオデ徳島音楽  
祭」を30年近く主催。日本音  
楽界最高の登竜門である日本  
音楽コンクール入賞者を招き、  
トップレベルの演奏に触れる  
機会を設け、徳島の文化発展  
に寄与している。



国内経済視察会

そのほか視察団一行は、大  
塚国際美術館や神戸三宮セン  
ター街などを視察した。

で汗を流すことができる。社  
員の中には、早朝に釣りをし  
たり、休日にサイクリングを  
楽しんだりする人もいて、淡  
路島のリゾート型本社・工場  
を満喫している。

## 問屋町の交流拠点を目指す 問屋町交流ストアオープン

10月18日（木）、「問屋町交  
流ストア」が問屋町会館に  
オープンした。  
同ストアは、これまで組合  
員のための売店として長きに  
わたり利用されてきた「問屋  
町ストア」をリニューアル。  
「交流」「憩い」「手作り」を  
コンセプトに、装いも新たに  
生まれ変わった。

交流ストアでは、イス・テ  
ーブルを設置し組合員が交流  
や情報交換できるフリースペ  
ースを拡充。同スペースでは、  
ストアで買った商品はもちろ  
ん、持ち込みでの飲食も可能  
人気ベーカリー「リトルプ  
ンセス」のパンや「浅草焼」  
のおやき、手作り弁当、地元  
農家の新鮮野菜や果物を販売

また、プロテオグリカン配合  
商品をはじめ、組合員取扱商  
品の委託販売を行うなど、コ  
ンビニエンスストアとの差別  
化を図る。  
今回のリニューアルにあわ  
せ、手作り雑貨を展示・販売  
するクラフトコーナーを新設  
し、新たな人の流れを創り出  
す。常駐する店舗スタッフが、

お客様とのふれあいを大切に  
接客し、交流促進を図る。  
問屋町会館周辺はますます  
賑わいを増し、同ストアを拠  
点に、新たな交流が生まれる  
ことが期待される。

## 県外視察で刺激を受ける 国内経済視察会

- ① 営業時間 9時～15時
- ② 取扱商品 弁当、パン、おやき、野菜・果物、特価飲食料品、県証紙、有料道路回数券、バスカードほか
- ③ 電話番号 728-9101

組合では、県外の卸団地や  
先進企業等を視察する国内経  
済視察会を10月25日から27日  
までの3日間行った。今回は  
徳島県の（協徳島総合流通セン  
ター）と淡路島市にあるプライ  
ミクス（株）を視察。西理事長を  
団長に組合員ら17名が参加し  
た。



集団健康診断

組合では、10月2日(火)から5日(金)までの4日間、問屋町会館で第2回集団健康診断を開催し、組合員や隣接する中央卸売市場の従業員

企業健康づくりを応援  
集団健康診断・予防接種



インフルエンザ集団予防接種

は、インフルエンザの集団予防接種を同じく問屋町会館で行い、3日間で過去最多となる1,030名がワクチン接種を受けた。

また、10月23日(火)、30日(火)、11月6日(火)に

北斗七星巡りは、坂上田村麻呂により建立されたといわれる北斗七星の形で配された問屋町の大星神社をはじめとする津軽地方の7つの神社を巡礼するもの。商売繁盛にご利益があるといわれている。当日は、終日、雨模様で天気となったが、参加者は荘厳な雰囲気と古の風情を残す社殿に魅了されながら、商売繁

盛を願う参拝した。また、青友会では、10月13日(土)に、青森問屋町経営同友会との合同ゴルフコンペを開催。青森カントリー倶楽部で行われた同コンペには両会会員ら24名が参加した。

20回目を迎えた同コンペでは、(株)問屋町カーサービスの山谷リーターが初優勝を飾った。また、ベストクロス賞は、青果流通機構(株)の長内専務と(株)青森出版の山宮副部長が同スコアで獲得した。



北斗七星巡り



ゴルフコンペで優勝した山谷氏

営業品目
■パンフレット・ポスター・チラシ・ダイレクトメール・カタログ・カレンダー等
■チケット・商品券・証券等
■プログラム・記念誌・報告書・資料集・新聞・社内報等
■コンピューター用帳票類・一般事務用帳票類等
■各種封筒・案内状・挨拶状・名刺等
■オンデマンド印刷等
■Win・Mac各種データ作成・変換 etc.

総合印刷 株式会社 誠五社
〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目3番18号
TEL (017) 729-1611(代)
FAX (017) 729-1188

貸付組合員の脱退について  
承認  
第7回理事会

AIについてなど学ぶ  
組合員昼食会

第7回理事会が10月29日(月)に開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。また、事務局からは、2018年度決算予想についてなど報告した。主な案件審議は次のとおり

組合員昼食会が10月4日(木)に問屋町会館2階大会議室で開かれ、近年最多となる組合員ら64名が参加した。はじめに、組合員の(株)青森共同計算センター及び富士通(株)の担当者が、AI(人工知能)について解説した。AIとは人工的に作られた人間のような知能、またはそれを作るための一連の技術、研究分野のこと。人類はこれまで、蒸気機関、電気、コンピュータと3つの産業革命を経験。現在、第4次産業革命を迎えており、

様々なモノがインターネットにつながる。IoTが進み、それをAIが制御。我々の生活に大きな影響を及ぼすと言われている。富士通の安部氏は「AIが進化するにはディープラーニング(深層学習)が必要であり、ディープラーニングにはビッグデータが不可欠。データが少ないとAIでも判断を誤る」と解説。また、各分野でのAI導入事例を紹介した。

つづいて、組合員である(有)ベストスマイル青森の大里社長が「身体を変えて人生を変える!思考とは?」と題し、失敗しないダイエット法について紹介した。

同氏は、デイサービス事業などを運営する傍ら、水球日本代表のトレーナーとしても活躍。「ベストスマイルパフォーマンスセンター」を問屋町に設立し、科学的アプローチによるボディメイクや、原因にフォーカスした健康管理等のパーソナルプログラムを提供している。大里社長は「思考を変えれば行動が変わり、行動が変われば習慣が変わる。また、習慣が変われば身体(人格)が変わり、身体(人格)が変われば人生が変わる」と説明。「ダイエットの天敵である砂糖のネガティブ情報を知

り、砂糖を摂取しないことが無意識にできるようになればリバウンドしない。食習慣が体を作るので、日常的に血糖値が急激に上がらない食品を摂るよう心がけてほしい」とまとめた。

住宅設備機器・冷暖房機器  
住宅関連商品総合卸商社  
株式会社 金辰商事  
本社 青森市第二問屋町3-3-13 TEL 729-3111  
支店 仙台 営業所 弘前・盛岡・八戸



今年度の清掃活動終了  
合同清掃・ユアテック清掃

今年度最後の問屋町合同清掃が10月18日(木)に開催され、200名が参加した。4月から10月まで全7回行われた合同清掃には、延べ1、



合同清掃



ユアテック清掃活動

525名(1回平均218名)が参加し、ごみ拾いや歩道の草刈りを行った。

また、10月1日(月)には(株)ユアテック青森支社・青森営業所と関連会社によるボランティア清掃活動が実施。74名の参加者により、問屋町南

側に隣接する同社周辺から問屋町大通りまでの広範囲にわたってごみ拾いが行われ、問屋町の美化推進に貢献した。清掃活動の成果は問屋町に落ちているごみの量に如実に表れ、年々減少。合同清掃参加者も「ごみを見つづけるのに苦労する」と感想を述べるほど少なくなっている。

死亡事故ゼロ8千日を目指し街頭指導を実施

青森交通安全協会問屋町支部では、10月23日(火)に第4回問屋町交通安全街頭指導を実施した。今年度最後の開催となった活動には、同支部会員72名に加え、八甲田交番からも2名が参加。八ツ役五又



交通安全街頭指導

路交差点で信号待ちするドライバーに啓発チラシを手渡すなど、安全運転を呼びかけた。同支部では、問屋町内交通死亡事故ゼロ8千日達成(2019年9月22日達成予定)に向け、今後も交通安全啓蒙活動を続ける。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、今年の8月31日にオープンしたセブンイレブン青森問屋町1丁目店の金津オーナーにお話を伺った。

同店は(株)セブン&アイ・ホールディングスの子会社である(株)セブンイレブン・ジャパンが展開する日本で最大の店舗数を誇るコンビニエンスストア。青森県内に84店舗あり、青森問屋町1丁目店は市内でも有数の規模を誇る大型店で商品や飲食スペースなどが充実している。

「セブンイレブンでは24時間365日、人々の暮らしを維持するために欠かせない『近くて便利』をキャッチフレーズに

様々な取り組みを行っています。栄養バランスの良い食事をお届けするサービスの『セブンミール』や、外出の難しいお客様に食事や日用品などをお届けする『セブンらくらくお届け便』、買い物がないお客様に地域に軽トラックで出向いて商品を販売する『セブンあんしんお届け便』など、小売店の減少や少子高齢化に伴うサービスに積極的に取り組んでいます」と話す。店舗の取組み等を聞くと「他店よりも品揃えを充実させ、お客様に気持ちよく買い物をしてもらえようという接客を心掛けています。従業員のほとんどが留学生となっているため、早く立ち立ちできる



セブン・イレブン 青森問屋町1丁目店 オーナー 金津 藤徳 氏

よう教育に努めています。団地内企業が休みとなる土・日曜日の来客数を確保するため、特定日でのnanacoカードチャージ特典や、棚落ち商品を早めにセール品として出すなど様々なイベントで集客を図りたいです。また、第二

問屋町の企業のお客様には、離れていてもあり利用しづらいため「らくらくお届け便」で弁当などの配達に取り組みます。当店に直接ご連絡いただければ1個からでも配達いたします」とアピール。

問屋町の印象について話が及ぶと「朝に合同清掃が行われていたり、花の管理がされていたりと

地内がとても綺麗な印象です。前々から問屋町には出店したいと思っていたので現実に来たことが大変嬉しいですね。みなさんの「近くて便利」なお店になれるよう頑張ります」と力強い。プライベートについて尋ねると「趣味は仕事で、常に店のことばかり考えてしまいます。仕事以外ではツーリングとゴルフですね。ゴルフは始めてから30年ほど経ち、組合ではゴルフコンペがあると聞いたので是非参加したいです」と笑顔で答えた。同氏の好きな言葉は「有言実行」。「出来ない理由より出来る理由を考えるべし」「遅いんだべし(牛)でも出来るべし」と昔よく上司に言われたものです」と話した。(58歳)

編集後記

今年の組合の徳島視察も思いのほか実りあるものでした。経済・社会・文化の3つの組合価値の創造を目指す立場から、(株)徳島総合流通センターが地域社会のため30年近く行っている「リオデタメ30周年記念」文化事業は、大塚国際美術館とともに大変よい刺激となりました▼また淡路のブライミクス(株)の職住共存の取組みもヒント満載でした▼転話題。文化つながりで、今回は趣を変え、津軽を中心とした文化・歴史・宗教・民俗についてです▼観光資源のシーズともなるテーマが沢山ですので、来年から本欄において「経済テーマ」に織り交ぜながらご紹介いたします▼私は青森(特に津軽)という地は、その多様性と重層性において、インドにも匹敵する多神教の地だと思っています。そこで今回はそのテーマの予告を順不同で簡潔書きます▼まずは今年も青友会で行った「北斗七星巡り」の基となった「北斗信仰」です。次は東北一円で信仰される「おしら様」。そして水神信仰の「十和田様」があり、地藏信仰の「いたこ」や熊野信仰としての「お岩木様」。観音信仰による「津軽三十三観音」巡り。アラバキ伝承の「赤倉信仰」などがあります▼津軽半島の十三湖に中世にあった幻の交易都市「十三湊」。歴史家があまりふれない「津軽キリシタン」。津軽藩の蝦夷津軽藩士殉難事件と「妙見宮(大星神社)再建」。津軽にだけある「鳥居の鬼っこ」。青森市の小牧野遺跡の後背地の巨石信仰「石神様」。等々です。(藤本)

あなたの暮らしに近くて便利！  
セブン・イレブン 青森問屋町1丁目店  
〒030-0131 青森市問屋町1丁目9番22号  
電話/FAX 017-728-7717

MADOショップの“温活”玄関リフォームは  
プランがたくさんあるし、もたまるんだワン。  
T-POINT  
かんたん ドアリモ 玄関ドア  
長内サッシ工業株式会社  
青森市問屋町2丁目12-35  
TEL 017-(728)-1311  
MADO ショップ 青森中央店